

6 一般会計

(1) 決算収支状況

一般会計における決算収支の状況は、次表のとおりである。

一般会計決算収支状況表

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	前年度 対比(%)
予 算 現 額 A		124,472,457,690	121,673,698,643	2,798,759,047	102.3
歳入	決 算 額 B	117,847,193,791	115,127,801,116	2,719,392,675	102.4
	執 行 率 B/A	94.7%	94.6%	0.1P	-
歳出	決 算 額 C	115,419,445,203	111,407,310,247	4,012,134,956	103.6
	執 行 率 C/A	92.7%	91.6%	1.1P	-
歳入歳出差引額（形式収支） D:B-C		2,427,748,588	3,720,490,869	△ 1,292,742,281	65.3
翌年度へ繰り越すべき財源 E		124,317,962	1,194,241,135	△ 1,069,923,173	10.4
実 質 収 支 D-E		2,303,430,626	2,526,249,734	△ 222,819,108	91.2

当年度は、予算現額 1,244 億 7,245 万 7,690 円に対し、歳入決算額が 1,178 億 4,719 万 3,791 円、歳出決算額が 1,154 億 1,944 万 5,203 円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 24 億 2,774 万 8,588 円であり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源 1 億 2,431 万 7,962 円を差し引いた実質収支は 23 億 343 万 626 円の黒字となっている。

前年度と比較し、歳入は 27 億 1,939 万 2,675 円（2.4%）、歳出は 40 億 1,213 万 4,956 円（3.6%）それぞれ増加している。また、歳入歳出差引額（形式収支）は 12 億 9,274 万 2,281 円（△ 34.7%）減少している。翌年度へ繰り越すべき財源は 10 億 6,992 万 3,173 円（△ 89.6%）減少している。

なお、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は 2 億 2,281 万 9,108 円の赤字となっている。

(2) 歳入

ア 歳入決算の概況

歳入の決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	前年度 対比(%)
予 算 現 額 A	124,472,457,690	121,673,698,643	2,798,759,047	102.3
調 定 額 B	120,290,176,068	117,613,483,923	2,676,692,145	102.3
収 入 済 額 C	117,847,193,791	115,127,801,116	2,719,392,675	102.4
不 納 欠 損 額	158,348,311	104,469,331	53,878,980	151.6
収 入 未 済 額	2,294,218,768	2,391,650,497	△ 97,431,729	95.9
執 行 率 C/A	94.7%	94.6%	0.1P	-
収 入 率 C/B	98.0%	97.9%	0.1P	-

予算現額に対する収入済額の割合（執行率）は 94.7%で、前年度と比較し 0.1 ポイント上昇し、調定額に対する収入済額の割合（収入率）は 98.0%で、前年度と比較すると 0.1 ポイント上昇している。

次に、不納欠損額は 1 億 5,834 万 8,311 円で、前年度と比較し 5,387 万 8,980 円(51.6%) 増加し、収入未済額は 22 億 9,421 万 8,768 円で、前年度と比較し 9,743 万 1,729 円(△ 4.1%) 減少している。

款別の歳入決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別歳入決算年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入済額	構成比 (%)	収入済額	構成比 (%)		
市 税	33,373,174,998	28.3	33,085,350,275	28.7	287,824,723	100.9
地方譲与税	805,858,242	0.7	777,457,333	0.7	28,400,909	103.7
利子割交付金	48,660,000	0.0	85,957,000	0.1	△ 37,297,000	56.6
配当割交付金	140,713,000	0.1	122,070,000	0.1	18,643,000	115.3
株式等譲渡所得割 交付金	72,033,000	0.1	110,679,000	0.1	△ 38,646,000	65.1
地方消費税交付金	4,573,235,000	3.9	4,834,751,000	4.2	△ 261,516,000	94.6
ゴルフ場利用税 交付金	42,919,694	0.0	44,638,317	0.0	△ 1,718,623	96.1
自動車取得税 交付金	136,397,902	0.1	258,008,000	0.2	△ 121,610,098	52.9
環境性能割 交付金	40,320,000	0.0			40,320,000	皆増
国有提供施設等 所在市助成交付金	74,323,000	0.1	74,323,000	0.1	0	100.0
地方特例交付金	551,503,000	0.5	163,071,000	0.1	388,432,000	338.2
地方交付税	26,182,697,000	22.2	25,585,474,000	22.2	597,223,000	102.3
交通安全対策 特別交付金	40,138,000	0.0	42,786,000	0.0	△ 2,648,000	93.8
分担金及び負担金	784,674,694	0.7	954,307,000	0.8	△ 169,632,306	82.2
使用料及び手数料	3,665,042,807	3.1	3,789,625,216	3.3	△ 124,582,409	96.7
国庫支出金	17,462,870,083	14.8	16,451,594,759	14.3	1,011,275,324	106.1
県 支 出 金	7,801,951,656	6.6	7,539,692,571	6.6	262,259,085	103.5
財 産 収 入	511,248,389	0.4	341,304,829	0.3	169,943,560	149.8
寄 附 金	293,655,975	0.3	279,852,001	0.3	13,803,974	104.9
繰 入 金	3,498,200,000	3.0	3,649,545,423	3.2	△ 151,345,423	95.9
繰 越 金	3,720,490,869	3.2	2,507,976,612	2.2	1,212,514,257	148.3
諸 収 入	4,271,482,482	3.6	4,958,658,780	4.3	△ 687,176,298	86.1
市 債	9,755,604,000	8.3	9,470,679,000	8.2	284,925,000	103.0
合 計	117,847,193,791	100.0	115,127,801,116	100.0	2,719,392,675	102.4

当年度の歳入決算額は 1,178 億 4,719 万 3,791 円で、前年度と比較し 27 億 1,939 万 2,675 円（2.4%）増加している。

歳入決算額の構成をみると、市税が 333 億 7,317 万 4,998 円（構成比 28.3%）で最も多く、次いで地方交付税が 261 億 8,269 万 7,000 円（構成比 22.2%）、国庫支出金が 174 億

6,287万83円（構成比14.8%）、市債が97億5,560万4,000円（構成比8.3%）、県支出金が78億195万1,656円（構成比6.6%）などとなっている。

次に、前年度と比較し収入済額が増加した主な款及び増加額は、繰越金12億1,251万4,257円（48.3%）、国庫支出金10億1,127万5,324円（6.1%）である。

また、減少した主な款及び減少額は、諸収入6億8,717万6,298円（△13.9%）、地方消費税交付金2億6,151万6,000円（△5.4%）、分担金及び負担金1億6,963万2,306円（△17.8%）、繰入金1億5,134万5,423円（△4.1%）、使用料及び手数料1億2,458万2,409円（△3.3%）、自動車取得税交付金1億2,161万98円（△47.1%）、株式等譲渡所得割交付金3,864万6,000円（△34.9%）、利子割交付金3,729万7,000円（△43.4%）である。

次に、款別の収入未済額及び不納欠損額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別収入未済額年度比較表

(単位:円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入未済額	収入未済率(%)	収入未済額	収入未済率(%)		
市 税	762,233,797	2.2	759,208,642	2.2	3,025,155	100.4
分担金及び負担金	54,055,892	6.4	69,411,389	6.7	△15,355,497	77.9
使用料及び手数料	708,235,402	15.9	818,856,437	17.8	△110,621,035	86.5
財 産 収 入	65,076,506	11.3	63,063,058	15.3	2,013,448	103.2
諸 収 入	704,617,171	14.1	681,110,971	12.0	23,506,200	103.5
合 計	2,294,218,768	1.9	2,391,650,497	2.0	△97,431,729	95.9

注 収入未済率は、款ごとの調定額に対する収入未済額の割合。合計については、調定総額に対する収入未済額の割合。

款別不納欠損額年度比較表

(単位:円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減	前年度 対比(%)
	不納欠損額	不納欠損率(%)	不納欠損額	不納欠損率(%)		
市 税	65,960,356	0.2	69,365,122	0.2	△3,404,766	95.1
分担金及び負担金	4,959,240	0.6	4,955,150	0.5	4,090	100.1
使用料及び手数料	68,221,640	1.5			68,221,640	皆増
財 産 収 入			7,539,520	1.8	△7,539,520	皆減
諸 収 入	19,207,075	0.4	22,609,539	0.4	△3,402,464	85.0
合 計	158,348,311	0.1	104,469,331	0.1	53,878,980	151.6

注 不納欠損率は、款ごとの調定額に対する不納欠損額の割合。合計については、調定総額に対する不納欠損額の割合。

イ 款別歳入決算状況

款別の歳入決算状況は、次のとおりである。

第1款 市税

(ア) 収入状況

当年度の市税の収入状況は、次表のとおりである。

市税の収入状況表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	調定額	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	執行率 B/A(%)		
市民税	15,270,462,000	15,736,185,745	15,342,324,818	100.5	28,676,813	373,357,448
現年課税分	15,165,415,000	15,375,618,722	15,250,159,649	100.6	185,900	133,091,282
滞納繰越分	105,047,000	360,567,023	92,165,169	87.7	28,490,913	240,266,166
固定資産税	13,975,343,000	14,385,259,149	14,059,194,539	100.6	29,708,512	297,468,751
現年課税分	13,896,603,000	14,098,494,722	13,989,028,291	100.7	1,615,136	108,929,574
滞納繰越分	78,740,000	286,764,427	70,166,248	89.1	28,093,376	188,539,177
軽自動車税	726,461,000	762,857,667	709,902,880	97.7	3,897,025	49,219,406
現年課税分	714,153,000	715,441,900	698,665,134	97.8	46,200	16,879,010
滞納繰越分	12,308,000	47,415,767	11,237,746	91.3	3,850,825	32,340,396
市たばこ税	1,761,722,000	1,802,134,694	1,802,134,744	102.3		
現年課税分	1,761,722,000	1,802,131,744	1,802,131,794	102.3		
滞納繰越分		2,950	2,950	-		
特別土地保有税	404,000	7,882,454	465,345	115.2		7,417,109
滞納繰越分	404,000	7,882,454	465,345	115.2		7,417,109
入湯税	27,770,000	30,528,580	30,163,150	108.6		365,430
現年課税分	27,708,000	30,170,950	30,115,900	108.7		55,050
滞納繰越分	62,000	357,630	47,250	76.2		310,380
都市計画税	1,426,103,000	1,466,958,180	1,428,989,522	100.2	3,678,006	34,405,653
現年課税分	1,415,977,000	1,431,492,900	1,420,254,272	100.3	165,822	11,183,510
滞納繰越分	10,126,000	35,465,280	8,735,250	86.3	3,512,184	23,222,143
合 計	33,188,265,000	34,191,806,469	33,373,174,998	100.6	65,960,356	762,233,797
現年課税分計	32,981,578,000	33,453,350,938	33,190,355,040	100.6	2,013,058	270,138,426
滞納繰越分計	206,687,000	738,455,531	182,819,958	88.5	63,947,298	492,095,371

市税収入全体で見ると、収入済額は 333 億 7,317 万 4,998 円で、予算現額 331 億 8,826 万 5,000 円に対する執行率は 100.6%となり、調定額 341 億 9,180 万 6,469 円に対する収入率は 97.6%となっている。また、不納欠損額は 6,596 万 356 円、収入未済額は 7 億 6,223

万 3,797 円である。なお、歳入決算額全体に占める市税の割合は 28.3%となっている。

市税収入の収入済額の内訳をみると、市民税が 153 億 4,232 万 4,818 円（構成比 46.0%）と最も多く、次いで固定資産税が 140 億 5,919 万 4,539 円（構成比 42.1%）、市たばこ税が 18 億 213 万 4,744 円（構成比 5.4%）、都市計画税が 14 億 2,898 万 9,522 円（構成比 4.3%）などとなっている。

次に、税目別の収入済額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

収入済額年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度			平成30年度			比較増減	前年度 対比(%)
	収入済額	収入率 (%)	構成比 (%)	収入済額	収入率 (%)	構成比 (%)		
市民税	15,342,324,818	97.5	46.0	15,308,911,895	97.5	46.3	33,412,923	100.2
現年課税分	15,250,159,649	99.2	45.7	15,213,817,264	99.1	46.0	36,342,385	100.2
滞納繰越分	92,165,169	25.6	0.3	95,094,631	28.2	0.3	△ 2,929,462	96.9
固定資産税	14,059,194,539	97.7	42.1	13,851,040,655	97.7	41.9	208,153,884	101.5
現年課税分	13,989,028,291	99.2	41.9	13,786,370,482	99.2	41.7	202,657,809	101.5
滞納繰越分	70,166,248	24.5	0.2	64,670,173	22.3	0.2	5,496,075	108.5
軽自動車税	709,902,880	93.1	2.1	685,979,493	92.9	2.0	23,923,387	103.5
現年課税分	698,665,134	97.7	2.1	674,159,579	97.6	2.0	24,505,555	103.6
滞納繰越分	11,237,746	23.7	0.0	11,819,914	25.0	0.0	△ 582,168	95.1
市たばこ税	1,802,134,744	100.0	5.4	1,794,700,329	100.0	5.4	7,434,415	100.4
現年課税分	1,802,131,794	100.0	5.4	1,794,695,594	100.0	5.4	7,436,200	100.4
滞納繰越分	2,950	100.0	0.0	4,735	100.0	0.0	△ 1,785	62.3
特別土地保有税	465,345	5.9	0.0	450,295	5.4	0.0	15,050	103.3
滞納繰越分	465,345	5.9	0.0	450,295	5.4	0.0	15,050	103.3
入湯税	30,163,150	98.8	0.1	28,947,050	98.8	0.1	1,216,100	104.2
現年課税分	30,115,900	99.8	0.1	28,915,250	99.8	0.1	1,200,650	104.2
滞納繰越分	47,250	13.2	0.0	31,800	9.3	0.0	15,450	148.6
都市計画税	1,428,989,522	97.4	4.3	1,415,320,558	97.2	4.3	13,668,964	101.0
現年課税分	1,420,254,272	99.2	4.3	1,406,912,444	99.2	4.3	13,341,828	100.9
滞納繰越分	8,735,250	24.6	0.0	8,408,114	22.1	0.0	327,136	103.9
合 計	33,373,174,998	97.6	100.0	33,085,350,275	97.6	100.0	287,824,723	100.9
現年課税分計	33,190,355,040	99.2	99.5	32,904,870,613	99.2	99.5	285,484,427	100.9
滞納繰越分計	182,819,958	24.8	0.5	180,479,662	25.0	0.5	2,340,296	101.3

当年度の市税収入決算額は 333 億 7,317 万 4,998 円で、前年度と比較し 2 億 8,782 万 4,723 円（0.9%）増加している。そのうち、現年課税分は 331 億 9,035 万 5,040 円で、前年度と

比較し 2 億 8,548 万 4,427 円（0.9%）増加しているが、これは主に、固定資産税が 2 億 265 万 7,809 円増加したことによるものである。

滞納繰越分は 1 億 8,281 万 9,958 円で、前年度と比較し 234 万 296 円（1.3%）増加している。これは主に、市民税が 292 万 9,462 円減少したものの、固定資産税が 549 万 6,075 円増加したことによるものである。

また、現年課税分の収入率は 99.2%、滞納繰越分の収入率は 24.8%で、前年度と比較し現年課税分は同率、滞納繰越分は 0.2 ポイント低下し、全体の収入率は 97.6%となり前年度と比較し同率となっている。

(イ) 収入未済額及び不納欠損額の状況

収入未済額の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

収入未済額年度比較表

(単位:円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減	前年度 対比(%)
	収入未済額	収入未済 率(%)	収入未済額	収入未済 率(%)		
市 民 税	373,357,448	2.4	367,366,049	2.3	5,991,399	101.6
現年課税分	133,091,282	0.9	150,876,099	1.0	△ 17,784,817	88.2
滞納繰越分	240,266,166	66.6	216,489,950	64.2	23,776,216	111.0
固 定 資 産 税	297,468,751	2.1	299,054,920	2.1	△ 1,586,169	99.5
現年課税分	108,929,574	0.8	106,388,874	0.8	2,540,700	102.4
滞納繰越分	188,539,177	65.7	192,666,046	66.6	△ 4,126,869	97.9
軽自動車税	49,219,406	6.5	48,090,859	6.5	1,128,547	102.3
現年課税分	16,879,010	2.4	16,740,421	2.4	138,589	100.8
滞納繰越分	32,340,396	68.2	31,350,438	66.3	989,958	103.2
市たばこ税			2,950	0.0	△ 2,950	皆減
現年課税分			2,950	0.0	△ 2,950	皆減
特別土地保有税	7,417,109	94.1	7,882,454	94.6	△ 465,345	94.1
滞納繰越分	7,417,109	94.1	7,882,454	94.6	△ 465,345	94.1
入 湯 税	365,430	1.2	357,630	1.2	7,800	102.2
現年課税分	55,050	0.2	47,250	0.2	7,800	116.5
滞納繰越分	310,380	86.8	310,380	90.7	0	100.0
都 市 計 画 税	34,405,653	2.3	36,453,780	2.5	△ 2,048,127	94.4
現年課税分	11,183,510	0.8	10,922,700	0.8	260,810	102.4
滞納繰越分	23,222,143	65.5	25,531,080	67.0	△ 2,308,937	91.0
合 計	762,233,797	2.2	759,208,642	2.2	3,025,155	100.4
現年課税分計	270,138,426	0.8	284,978,294	0.9	△ 14,839,868	94.8
滞納繰越分計	492,095,371	66.6	474,230,348	65.8	17,865,023	103.8

注 収入未済率は、項目ごとの調定額に対する収入未済額の割合。

当年度の収入未済額は、市税全体では7億6,223万3,797円で、前年度と比較し302万5,155円(0.4%)増加している。内訳は、市民税が3億7,335万7,448円で、前年度と比較し599万1,399円(1.6%)、軽自動車税が4,921万9,406円で、前年度と比較し112万8,547円(2.3%)、入湯税が36万5,430円で、前年度と比較し7,800円(2.2%)それぞれ増加している。一方、固定資産税が2億9,746万8,751円で、前年度と比較し158

万 6,169 円 (△ 0.5%)、都市計画税が 3,440 万 5,653 円で、前年度と比較し 204 万 8,127 円 (△ 5.6%)、特別土地保有税が 741 万 7,109 円で、前年度と比較し 46 万 5,345 円 (△ 5.9%) それぞれ減少している。なお、滞納繰越分が収入未済額の 64.6%を占めている。

次に、不納欠損額の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

不納欠損の事由別明細及び年度比較表

(単位：件、円)

区 分	不 納 欠 損 の 事 由 別 分 類						令和元年度 合 計		平成30年度		比較増減	
	地方税法第16条の7第4項 (執行停止後3年経過)		地方税法第16条の7第5項 (会社倒産等)		地方税法第18条第1項 (時効の完成)		件数	金額	件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額						
市 民 税	420	19,637,422	70	2,704,971	218	6,334,420	708	28,676,813	480	26,725,166	228	1,951,647
個人	現年課税分		3	135,900			3	135,900	20	808,783	△ 17	△ 672,883
	滞納繰越分	414	19,324,722	54	1,872,177	211	6,001,220	679	27,198,119	435	23,916,959	244
法人	現年課税分		1	50,000			1	50,000	2	41,600	△ 1	8,400
	滞納繰越分	6	312,700	12	616,894	7	333,200	25	1,292,794	23	1,957,824	2
固定資産税	239	8,937,173	278	13,672,347	287	7,098,992	804	29,708,512	652	34,013,892	152	△ 4,305,380
	現年課税分		16	1,615,136			16	1,615,136	19	1,890,273	△ 3	△ 275,137
	滞納繰越分	239	8,937,173	262	12,057,211	287	7,098,992	788	28,093,376	633	32,123,619	155
軽自動車税	264	2,101,669	52	557,221	264	1,238,135	580	3,897,025	370	4,190,898	210	△ 293,873
	現年課税分		4	46,200			4	46,200	5	38,000	△ 1	8,200
	滞納繰越分	264	2,101,669	48	511,021	264	1,238,135	576	3,850,825	365	4,152,898	211
都市計画税	(239)	1,117,309	(277)	1,673,194	(283)	887,503	(799)	3,678,006	(645)	4,435,166	(154)	△ 757,160
	現年課税分		(16)	165,822			(16)	165,822	(19)	254,527	(△3)	△ 88,705
	滞納繰越分	(239)	1,117,309	(261)	1,507,372	(283)	887,503	(783)	3,512,184	(626)	4,180,639	(157)
合 計	923	31,793,573	400	18,607,733	769	15,559,050	2,092	65,960,356	1,502	69,365,122	590	△ 3,404,766
	現年課税分		24	2,013,058			24	2,013,058	46	3,033,183	△ 22	△ 1,020,125
	滞納繰越分	923	31,793,573	376	16,594,675	769	15,559,050	2,068	63,947,298	1,456	66,331,939	612
備 考		48.2%		28.2%		23.6%		100.0%				

注1 () の数値は固定資産税(土地・家屋分)と重複するため合計には加えていない。

2 件数は、原則として課税年度及び税目ごとの納税義務者件数である。

不納欠損額は、市税全体では 6,596 万 356 円で、前年度と比較し 340 万 4,766 円(△ 4.9%) 減少し、件数は 2,092 件で、前年度と比較し 590 件 (39.3%) 増加している。内訳は、市民税が 2,867 万 6,813 円で、前年度と比較し 195 万 1,647 円(7.3%)増加している一方で、固定資産税が 2,970 万 8,512 円で、前年度と比較し 430 万 5,380 円 (△ 12.7%)、軽自動車税が 389 万 7,025 円で、前年度と比較し 29 万 3,873 円 (△ 7.0%)、都市計画税が 367 万 8,006 円で、前年度と比較し 75 万 7,160 円 (△ 17.1%) それぞれ減少している。なお、滞納繰越分が不納欠損額の 96.9%を占めている。

第2款 地方譲与税

地方譲与税の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	785,802,000	805,858,242	805,858,242	100.0%		
平成30年度	809,665,000	777,457,333	777,457,333	100.0%		
比較増減	△ 23,863,000	28,400,909	28,400,909	0.0%		
前年度対比	97.1%	103.7%	103.7%	-		

収入済額 8億585万8,242円は、歳入決算額全体の0.7%を占め、前年度と比較し2,840万909円(3.7%)増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
地方揮発油譲与税	192,036,000	23.8	216,213,000	27.8	△ 24,177,000	88.8
自動車重量譲与税	553,039,000	68.6	532,608,000	68.5	20,431,000	103.8
特別とん譲与税	31,677,166	3.9	28,636,333	3.7	3,040,833	110.6
森林環境譲与税	29,106,000	3.6			29,106,000	皆増
地方道路譲与税	76	0.0			76	皆増
合 計	805,858,242	100.0	777,457,333	100.0	28,400,909	103.7

地方揮発油譲与税の決算額は1億9,203万6,000円で、前年度と比較し2,417万7,000円(△11.2%)減少している。

自動車重量譲与税の決算額は5億5,303万9,000円で、前年度と比較し2,043万1,000円(3.8%)増加している。

特別とん譲与税の決算額は3,167万7,166円で、前年度と比較し304万833円(10.6%)増加している。

森林環境譲与税の決算額は2,910万6,000円で、前年度と比較し皆増となっている。

地方道路譲与税の決算額は76円で、前年度と比較し皆増となっている。

第3款 利子割交付金

利子割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	80,165,000	48,660,000	48,660,000	100.0%		
平成30年度	36,719,000	85,957,000	85,957,000	100.0%		
比較増減	43,446,000	△ 37,297,000	△ 37,297,000	0.0P		
前年度対比	218.3%	56.6%	56.6%	-		

収入済額 4,866 万円は、前年度と比較し 3,729 万 7,000 円 (△ 43.4%) 減少している。

第4款 配当割交付金

配当割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	165,485,000	140,713,000	140,713,000	100.0%		
平成30年度	100,115,000	122,070,000	122,070,000	100.0%		
比較増減	65,370,000	18,643,000	18,643,000	0.0P		
前年度対比	165.3%	115.3%	115.3%	-		

収入済額 1 億 4,071 万 3,000 円は、歳入決算額全体の 0.1% を占め、前年度と比較し 1,864 万 3,000 円 (15.3%) 増加している。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	156,865,000	72,033,000	72,033,000	100.0%		
平成30年度	102,952,000	110,679,000	110,679,000	100.0%		
比較増減	53,913,000	△ 38,646,000	△ 38,646,000	0.0P		
前年度対比	152.4%	65.1%	65.1%	-		

収入済額 7,203 万 3,000 円は、歳入決算額全体の 0.1%を占め、前年度と比較し 3,864 万 6,000 円 (△ 34.9%) 減少している。

第6款 地方消費税交付金

地方消費税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	4,706,524,000	4,573,235,000	4,573,235,000	100.0%		
平成30年度	4,680,553,000	4,834,751,000	4,834,751,000	100.0%		
比較増減	25,971,000	△ 261,516,000	△ 261,516,000	0.0P		
前年度対比	100.6%	94.6%	94.6%	-		

収入済額 45 億 7,323 万 5,000 円は、歳入決算額全体の 3.9%を占め、前年度と比較し 2 億 6,151 万 6,000 円 (△ 5.4%) 減少している。

第7款 ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	41,169,000	42,919,694	42,919,694	100.0%		
平成30年度	54,181,000	44,638,317	44,638,317	100.0%		
比較増減	△ 13,012,000	△ 1,718,623	△ 1,718,623	0.0P		
前年度対比	76.0%	96.1%	96.1%	-		

収入済額は 4,291 万 9,694 円で、前年度と比較し 171 万 8,623 円 (△ 3.9%) 減少している。

第8款 自動車取得税交付金

自動車取得税交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	109,740,000	136,397,902	136,397,902	100.0%		
平成30年度	331,817,000	258,008,000	258,008,000	100.0%		
比較増減	△ 222,077,000	△ 121,610,098	△ 121,610,098	0.0P		
前年度対比	33.1%	52.9%	52.9%	-		

収入済額 1 億 3,639 万 7,902 円は、歳入決算額全体の 0.1% を占め、前年度と比較し 1 億 2,161 万 98 円 (△ 47.1%) 減少している。

第9款 環境性能割交付金

環境性能割交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	41,706,000	40,320,000	40,320,000	100.0%		
平成30年度						
比較増減	41,706,000	40,320,000	40,320,000	-		
前年度対比	皆増	皆増	皆増	-		

収入済額 4,032万円は、前年度と比較し皆増となっている。

第10款 国有提供施設等所在市助成交付金

国有提供施設等所在市助成交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	74,323,000	74,323,000	74,323,000	100.0%		
平成30年度	78,899,000	74,323,000	74,323,000	100.0%		
比較増減	△4,576,000	0	0	0.0%		
前年度対比	94.2%	100.0%	100.0%	-		

収入済額 7,432万3,000円は、歳入決算額全体の0.1%を占め、前年度と比較し同額となっている。

第11款 地方特例交付金

地方特例交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	527,720,000	551,503,000	551,503,000	100.0%		
平成30年度	155,628,000	163,071,000	163,071,000	100.0%		
比較増減	372,092,000	388,432,000	388,432,000	0.0P		
前年度対比	339.1%	338.2%	338.2%	-		

収入済額 5 億 5,150 万 3,000 円は、歳入決算額全体の 0.5% を占め、前年度と比較し 3 億 8,843 万 2,000 円 (238.2%) 増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
地方特例交付金	216,392,000	39.2	163,071,000	100.0	53,321,000	132.7
子ども・子育て 支援臨時交付金	335,111,000	60.8			335,111,000	皆増
合 計	551,503,000	100.0	163,071,000	100.0	388,432,000	338.2

地方特例交付金の決算額は 2 億 1,639 万 2,000 円で、前年度と比較し 5,332 万 1,000 円 (32.7%) 増加している。

子ども・子育て支援臨時交付金の決算額は 3 億 3,511 万 1,000 円で、前年度と比較し皆増となっている。

第12款 地方交付税

地方交付税の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	26,152,308,000	26,182,697,000	26,182,697,000	100.0%		
平成30年度	26,124,170,000	25,585,474,000	25,585,474,000	100.0%		
比較増減	28,138,000	597,223,000	597,223,000	0.0P		
前年度対比	100.1%	102.3%	102.3%	-		

収入済額 261億8,269万7,000円は、歳入決算額全体の22.2%を占め、前年度と比較し5億9,722万3,000円(2.3%)増加している。これは主に、臨時財政対策債振替相当額の減による基準財政需要額の増加によるものである。

第13款 交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	49,914,000	40,138,000	40,138,000	100.0%		
平成30年度	44,059,000	42,786,000	42,786,000	100.0%		
比較増減	5,855,000	△2,648,000	△2,648,000	0.0P		
前年度対比	113.3%	93.8%	93.8%	-		

収入済額は4,013万8,000円で、前年度と比較し264万8,000円(△6.2%)減少している。

第14款 分担金及び負担金

分担金及び負担金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	804,014,283	843,669,826	784,674,694	93.0%	4,959,240	54,055,892
平成30年度	973,073,000	1,028,673,539	954,307,000	92.8%	4,955,150	69,411,389
比較増減	△ 169,058,717	△ 185,003,713	△ 169,632,306	0.2P	4,090	△ 15,355,497
前年度対比	82.6%	82.0%	82.2%	-	100.1%	77.9%

収入済額 7億8,467万4,694円は、歳入決算額全体の0.7%を占め、前年度と比較し1億6,963万2,306円(△17.8%)減少している。

不納欠損額は495万9,240円で、前年度と比較し4,090円(0.1%)増加している。不納欠損額は、全額が児童福祉費負担金(保育所入所に係る保護者負担金)である。

収入未済額は5,405万5,892円で、前年度と比較し1,535万5,497円(△22.1%)減少している。収入未済額の主なもの、児童福祉費負担金(保育所入所に係る保護者負担金等)4,733万8,010円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
分 担 金	19,992,100	2.5	13,573,198	1.4	6,418,902	147.3
負 担 金	764,682,594	97.5	940,733,802	98.6	△ 176,051,208	81.3
合 計	784,674,694	100.0	954,307,000	100.0	△ 169,632,306	82.2

分担金の決算額は1,999万2,100円で、前年度と比較し641万8,902円(47.3%)増加している。

負担金の決算額は7億6,468万2,594円で、前年度と比較し1億7,605万1,208円(△18.7%)減少している。

第15款 使用料及び手数料

使用料及び手数料の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	3,823,605,000	4,441,499,849	3,665,042,807	82.5%	68,221,640	708,235,402
平成30年度	3,933,525,000	4,608,481,653	3,789,625,216	82.2%		818,856,437
比較増減	△ 109,920,000	△ 166,981,804	△ 124,582,409	0.3P	68,221,640	△ 110,621,035
前年度対比	97.2%	96.4%	96.7%	-	皆増	86.5%

収入済額 36億6,504万2,807円は、歳入決算額全体の3.1%を占め、前年度と比較し1億2,458万2,409円(△3.3%)減少している。

不納欠損額は6,822万1,640円で、前年度と比較し皆増となっている。不納欠損額の主なものは、住宅使用料(市営住宅に係る家賃、駐車場等)6,821万6,547円である。

収入未済額は7億823万5,402円で、前年度と比較し1億1,062万1,035円(△13.5%)減少している。当年度の収入未済額の主なものは、住宅使用料6億9,743万8,889円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
使 用 料	2,706,740,631	73.9	2,850,804,258	75.2	△ 144,063,627	94.9
手 数 料	958,302,176	26.1	938,820,958	24.8	19,481,218	102.1
合 計	3,665,042,807	100.0	3,789,625,216	100.0	△ 124,582,409	96.7

使用料の決算額は27億674万631円で、前年度と比較し1億4,406万3,627円(△5.1%)減少している。

手数料の決算額は9億5,830万2,176円で、前年度と比較し1,948万1,218円(2.1%)増加している。

第16款 国庫支出金

国庫支出金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	19,208,311,159	17,462,870,083	17,462,870,083	100.0%		
平成30年度	17,818,633,339	16,451,594,759	16,451,594,759	100.0%		
比較増減	1,389,677,820	1,011,275,324	1,011,275,324	0.0%		
前年度対比	107.8%	106.1%	106.1%	-		

収入済額 174 億 6,287 万 83 円は、歳入決算額全体の 14.8%を占め、前年度と比較し 10 億 1,127 万 5,324 円 (6.1%) 増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
国庫負担金	14,523,821,722	83.2	14,002,985,635	85.1	520,836,087	103.7
国庫補助金	2,881,717,630	16.5	2,393,505,809	14.6	488,211,821	120.4
委託金	57,330,731	0.3	55,103,315	0.3	2,227,416	104.0
合 計	17,462,870,083	100.0	16,451,594,759	100.0	1,011,275,324	106.1

国庫負担金の決算額は 145 億 2,382 万 1,722 円で、前年度と比較し 5 億 2,083 万 6,087 円 (3.7%) 増加している。これは主に、児童福祉費負担金の施設型給付費負担金が 2 億 8,307 万 6,117 円、児童扶養手当給付費負担金が 1 億 1,408 万 6,363 円増加したことによるものである。

国庫補助金の決算額は 28 億 8,171 万 7,630 円で、前年度と比較し 4 億 8,821 万 1,821 円 (20.4%) 増加している。これは主に、小学校費補助金のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金が 3 億 1,025 万 9,000 円、中学校費補助金のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金が 1 億 2,865 万 4,000 円増加したことによるものである。

委託金の決算額は 5,733 万 731 円で、前年度と比較し 222 万 7,416 円 (4.0%) 増加している。

第17款 県支出金

県支出金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	8,482,111,113	7,801,951,656	7,801,951,656	100.0%		
平成30年度	8,078,849,514	7,539,692,571	7,539,692,571	100.0%		
比較増減	403,261,599	262,259,085	262,259,085	0.0P		
前年度対比	105.0%	103.5%	103.5%	-		

収入済額 78億195万1,656円は、歳入決算額全体の6.6%を占め、前年度と比較し2億6,225万9,085円(3.5%)増加している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
県負担金	5,105,115,609	65.4	4,958,655,673	65.8	146,459,936	103.0
県補助金	2,110,006,067	27.1	2,144,663,544	28.4	△34,657,477	98.4
委託金	586,829,980	7.5	436,373,354	5.8	150,456,626	134.5
合 計	7,801,951,656	100.0	7,539,692,571	100.0	262,259,085	103.5

県負担金の決算額は51億511万5,609円で、前年度と比較し1億4,645万9,936円(3.0%)増加している。これは主に、児童福祉費負担金の施設型給付費負担金が1億180万6,783円増加したことによるものである。

県補助金の決算額は21億1,000万6,067円で、前年度と比較し3,465万7,477円(△1.6%)減少している。

委託金の決算額は5億8,682万9,980円で、前年度と比較し1億5,045万6,626円(34.5%)増加している。これは主に、選挙費委託金が1億409万7,941円増加したことによるものである。

第18款 財産収入

財産収入の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	1,327,653,000	576,324,895	511,248,389	88.7%		65,076,506
平成30年度	419,339,000	411,907,407	341,304,829	82.9%	7,539,520	63,063,058
比較増減	908,314,000	164,417,488	169,943,560	5.8P	△ 7,539,520	2,013,448
前年度対比	316.6%	139.9%	149.8%	-	皆減	103.2%

収入済額 5 億 1,124 万 8,389 円は、歳入決算額全体の 0.4%を占め、前年度と比較し 1 億 6,994 万 3,560 円 (49.8%) 増加している。

収入未済額は 6,507 万 6,506 円で、前年度と比較し 201 万 3,448 円 (3.2%) 増加している。当年度の収入未済額の主なものは、土地建物貸付収入 6,182 万 4,506 円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
財産運用収入	118,241,227	23.1	121,047,683	35.5	△ 2,806,456	97.7
財産売払収入	393,007,162	76.9	220,257,146	64.5	172,750,016	178.4
合 計	511,248,389	100.0	341,304,829	100.0	169,943,560	149.8

財産運用収入の決算額は 1 億 1,824 万 1,227 円で、前年度と比較し 280 万 6,456 円 (△ 2.3%) 減少している。

財産売払収入の決算額は 3 億 9,300 万 7,162 円で、前年度と比較し 1 億 7,275 万 16 円 (78.4%) 増加している。これは主に、土地建物売払収入が 1 億 3,861 万 6,513 円減少しているものの、物品売払収入 (商品券) が 3 億 3,809 万 3,600 円増加したことによるものである。

第19款 寄附金

寄附金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	449,327,000	293,655,975	293,655,975	100.0%		
平成30年度	451,833,000	279,852,001	279,852,001	100.0%		
比較増減	△ 2,506,000	13,803,974	13,803,974	0.0P		
前年度対比	99.4%	104.9%	104.9%	-		

収入済額 2億9,365万5,975円は、歳入決算額全体の0.3%を占め、前年度と比較し1,380万3,974円(4.9%)増加している。これは主に、総務管理費寄附金が3,039万4,226円増加したことによるものである。

第20款 繰入金

繰入金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	3,589,181,000	3,498,200,000	3,498,200,000	100.0%		
平成30年度	4,393,484,000	3,649,545,423	3,649,545,423	100.0%		
比較増減	△ 804,303,000	△ 151,345,423	△ 151,345,423	0.0P		
前年度対比	81.7%	95.9%	95.9%	-		

収入済額 34億9,820万円は、歳入決算額全体の3.0%を占め、前年度と比較し1億5,134万5,423円(△4.1%)減少している。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
特別会計繰入金	251,000,000	7.2	7,038,423	0.2	243,961,577	3566.1
基金繰入金	3,247,200,000	92.8	3,642,507,000	99.8	△ 395,307,000	89.1
合 計	3,498,200,000	100.0	3,649,545,423	100.0	△ 151,345,423	95.9

特別会計繰入金の決算額は2億5,100万円で、前年度と比較し2億4,396万1,577円(3466.1%)増加している。これは、土地取得特別会計からの繰入金が2億5,100万円皆増したことによるものである。

基金繰入金の決算額は32億4,720万円で、前年度と比較し3億9,530万7,000円(△10.9%)減少している。これは主に、財政調整基金繰入金が3億円減少したことによるものである。

第21款 繰越金

繰越金の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	3,630,614,135	3,720,490,869	3,720,490,869	100.0%		
平成30年度	2,478,686,790	2,507,976,612	2,507,976,612	100.0%		
比較増減	1,151,927,345	1,212,514,257	1,212,514,257	0.0P		
前年度対比	146.5%	148.3%	148.3%	-		

収入済額37億2,049万869円は、歳入決算額全体の3.2%を占め、前年度と比較し12億1,251万4,257円(48.3%)増加している。

第22款 諸収入

諸収入の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	4,593,551,000	4,995,304,608	4,271,482,482	85.5%	19,207,075	704,617,171
平成30年度	5,180,926,000	5,662,378,940	4,958,658,780	87.6%	22,609,539	681,110,971
比較増減	△ 587,375,000	△ 667,074,332	△ 687,176,298	△ 2.1P	△ 3,402,464	23,506,200
前年度対比	88.7%	88.2%	86.1%	-	85.0%	103.5%

収入済額 42億7,148万2,482円は、歳入決算額全体の3.6%を占め、前年度と比較し6億8,717万6,298円(△13.9%)減少している。

不納欠損額は1,920万7,075円で、前年度と比較し340万2,464円(△15.0%)減少している。不納欠損額の主なものは、生活保護費立替払返納金1,782万2,945円である。

収入未済額は7億461万7,171円で、前年度と比較し2,350万6,200円(3.5%)増加している。収入未済額の主なものは、生活保護費立替払返納金2億1,233万5,289円、市税延滞金1億9,095万7,546円、社会福祉費貸付金元利収入1億7,591万2,004円である。

また、項別の収入状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別収入状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	収入済額 A	構成比 (%)	収入済額 B	構成比 (%)		
延滞金、加算金 及び 過 料	67,646,448	1.6	97,071,163	2.0	△ 29,424,715	69.7
市 預 金 利 子	346,657	0.0	452,984	0.0	△ 106,327	76.5
貸付金元利収入	1,417,075,945	33.2	1,473,610,445	29.7	△ 56,534,500	96.2
収益事業収入	700,000,000	16.4	1,750,000,000	35.3	△ 1,050,000,000	40.0
雑 入	2,086,413,432	48.8	1,637,524,188	33.0	448,889,244	127.4
合 計	4,271,482,482	100.0	4,958,658,780	100.0	△ 687,176,298	86.1

延滞金、加算金及び過料の決算額は6,764万6,448円で、前年度と比較し2,942万4,715円(△30.3%)減少している。

市預金利子の決算額は34万6,657円で、前年度と比較し10万6,327円(△23.5%)減少している。

貸付金元利収入の決算額は 14 億 1,707 万 5,945 円で、前年度と比較し 5,653 万 4,500 円 (△ 3.8%) 減少している。これは主に、商工費貸付金元利収入が 5,560 万 8,000 円減少したことによるものである。

収益事業収入の決算額は 7 億円で、全額がポートレース事業収入であり、前年度と比較し 10 億 5,000 万円 (△ 60.0%) 減少している。

雑入の決算額は 20 億 8,641 万 3,432 円で、前年度と比較し 4 億 4,888 万 9,244 円 (27.4%) 増加している。これは主に、重度医療高額療養費等受入金が 3 億 5,588 万 6,551 円増加し、スポーツ振興くじ助成金が 1 億 310 万 8,000 円皆増したことによるものである。

第 2 3 款 市債

市債の歳入決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額 A	収入済額		不納欠損額	収入未済額
			金額 B	収入率 B/A		
令和元年度	12,484,104,000	9,755,604,000	9,755,604,000	100.0%		
平成30年度	12,675,279,000	9,470,679,000	9,470,679,000	100.0%		
比較増減	△ 191,175,000	284,925,000	284,925,000	0.0P		
前年度対比	98.5%	103.0%	103.0%	-		

収入済額 97 億 5,560 万 4,000 円は、歳入決算額全体の 8.3% を占め、前年度と比較し 2 億 8,492 万 5,000 円 (3.0%) 増加している。これは主に、庁舎整備事業債が 13 億 4,610 万円、小学校整備事業債が 6 億 3,680 万円、清掃施設整備事業債が 3 億 2,680 万円、中学校整備事業債が 2 億 4,540 万円それぞれ増加したことによるものである。

また、市債の借入及び償還の状況は、次表のとおりである。

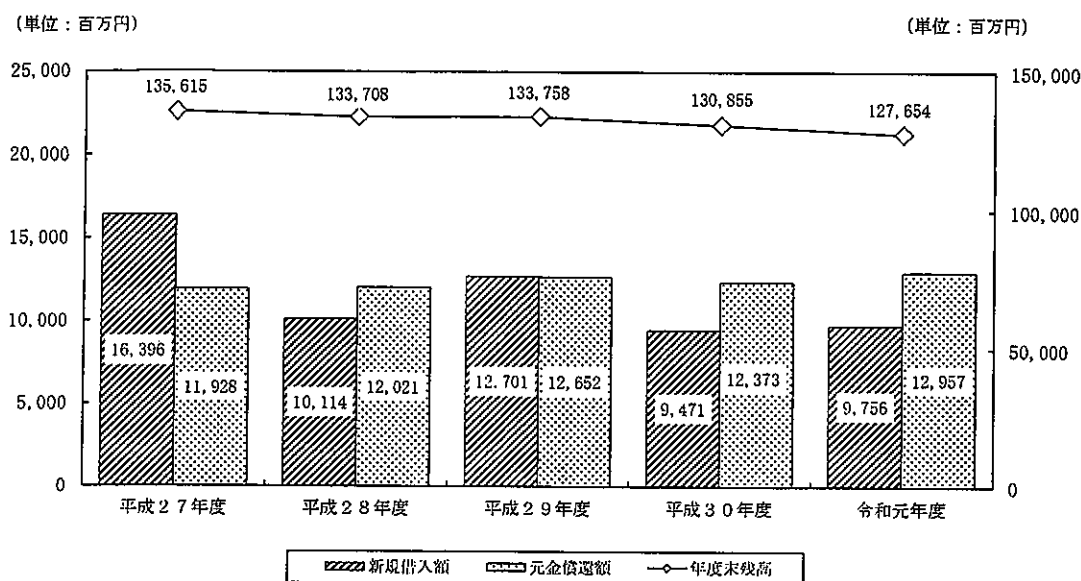
市債の借入及び償還状況表

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規借入額	9,755,604,000	9,470,679,000	12,701,326,000	10,114,289,000	16,396,222,000
元金償還額	12,956,924,987	12,372,932,967	12,651,966,202	12,021,409,156	11,928,127,565
年度末残高	127,654,090,526	130,855,411,513	133,757,665,480	133,708,305,682	135,615,425,838

平成30年度末市債残高は1,308億5,541万1,513円で、当年度の新規借入額は97億5,560万4,000円、元金償還額は129億5,692万4,987円で、当年度末市債残高は1,276億5,409万526円となり、前年度と比較し32億132万987円(△2.4%)減少している。なお、過去5か年度の新規借入額、元金償還額、年度末残高の推移は、次のグラフのとおりである。

新規借入額・元金償還額・年度末残高の推移



次に、新規借入額を借入先別にみると、次表のとおりである。

市債の借入先別状況

区分	令和元年度			平成30年度		
	年 利 率 (%)	借 入 額	構 成 比 (%)	年 利 率 (%)	借 入 額	構 成 比 (%)
財 政 融 資 資 金	0.002~0.008	5,307,958,000	54.4	0.004~0.080	5,184,836,000	54.7
地方公共団体金融機構	0.003~0.040	2,573,546,000	26.4	0.002~0.300	3,837,043,000	40.5
日本政策金融公庫	無利子~0.100	27,400,000	0.3	無利子~0.200	26,300,000	0.3
全国市有物件 災害共済会	0.002	35,000,000	0.3	0.010	30,000,000	0.3
山 口 銀 行	0.139	877,800,000	9.0			
西 中 国 信 用 金 庫	0.121~0.131	543,900,000	5.6	0.100	40,100,000	0.4
山口県市町村振興協会	0.110	363,000,000	3.7	0.020	336,200,000	3.6
山口県農業協同組合	0.200	27,000,000	0.3	0.200	5,300,000	0.1
山口県漁業協同組合				0.100	10,900,000	0.1
合 計		9,755,604,000	100.0		9,470,679,000	100.0

(3) 歳出

ア 歳出決算の概況

当年度の支出済額は、1,154億1,944万5,203円で、予算現額1,244億7,245万7,690円に対し、執行率は92.7%となっている。

・予算現額	1,244億7,245万7,690円
・支出済額	1,154億1,944万5,203円
・執行率	92.7%
・翌年度繰越額	31億1,370万5,739円
・不用額	59億3,930万6,748円

歳出の決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	前年度 対比(%)	
予 算 現 額	124,472,457,690	121,673,698,643	2,798,759,047	102.3	
支 出 済 額	115,419,445,203	111,407,310,247	4,012,134,956	103.6	
翌 年 度 繰 越 額	継続費通次繰越	259,167,434	348,727,300	△ 89,559,866	74.3
	繰越明許費	2,854,538,305	4,106,442,390	△ 1,251,904,085	69.5
	事故繰越し				
不 用 額	5,939,306,748	5,811,218,706	128,088,042	102.2	
執 行 率	92.7%	91.6%	1.1P		

当年度の決算状況を前年度と比較すると、予算現額は27億9,875万9,047円(2.3%)、支出済額は40億1,213万4,956円(3.6%)それぞれ増加しており、執行率は1.1ポイント上昇している。

不用額は1億2,808万8,042円(2.2%)増加している。

イ 款別歳出状況

支出済額を款別に前年度と比較すると、次表のとおりである。

款別歳出決算年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減	前年度対比 (%)
	支出済額	構成比 (%)	支出済額	構成比 (%)		
議 会 費	571,530,315	0.5	578,208,385	0.5	△ 6,678,070	98.8
総 務 費	12,285,387,054	10.6	10,411,510,981	9.3	1,873,876,073	118.0
民 生 費	45,361,597,941	39.3	44,954,728,777	40.4	406,869,164	100.9
衛 生 費	9,582,630,040	8.3	10,081,337,660	9.1	△ 498,707,620	95.1
労 働 費	210,499,909	0.2	221,250,325	0.2	△ 10,750,416	95.1
農林水産業費	4,253,564,572	3.7	4,488,182,130	4.0	△ 234,617,558	94.8
商 工 費	4,321,485,053	3.7	4,176,033,612	3.8	145,451,441	103.5
土 木 費	11,558,873,126	10.0	11,848,724,840	10.6	△ 289,851,714	97.6
消 防 費	3,472,525,928	3.0	3,498,235,297	3.1	△ 25,709,369	99.3
教 育 費	9,672,907,535	8.4	7,752,797,450	7.0	1,920,110,085	124.8
災 害 復 旧 費	479,897,578	0.4	200,233,053	0.2	279,664,525	239.7
公 債 費	13,648,546,152	11.8	13,196,067,737	11.8	452,478,415	103.4
合 計	115,419,445,203	100.0	111,407,310,247	100.0	4,012,134,956	103.6

支出済額の内訳は、民生費が 453 億 6,159 万 7,941 円で歳出決算額全体に占める構成比は 39.3%と最も高く、次いで、公債費が 136 億 4,854 万 6,152 円（構成比 11.8%）、総務費が 122 億 8,538 万 7,054 円（構成比 10.6%）、土木費が 115 億 5,887 万 3,126 円（構成比 10.0%）、教育費が 96 億 7,290 万 7,535 円（構成比 8.4%）、衛生費が 95 億 8,263 万 40 円（構成比 8.3%）などとなっている。

前年度と比較し支出済額が増加した主な款及び増加額は、教育費 19 億 2,011 万 85 円（24.8%）、総務費 18 億 7,387 万 6,073 円（18.0%）、公債費 4 億 5,247 万 8,415 円（3.4%）、民生費 4 億 686 万 9,164 円（0.9%）、災害復旧費 2 億 7,966 万 4,525 円（139.7%）、商工費 1 億 4,545 万 1,441 円（3.5%）である。

一方、減少した主な款及び減少額は、衛生費 4 億 9,870 万 7,620 円 (△ 4.9%)、土木費 2 億 8,985 万 1,714 円 (△ 2.4%)、農林水産業費 2 億 3,461 万 7,558 円 (△ 5.2%) である。

ウ 款別翌年度繰越額状況

款別翌年度繰越額の内訳は、次表のとおりである。

款別翌年度繰越額状況表

(単位：円)

区 分	翌年度繰越額						合 計	
	継続費通次繰越		繰越明許費		事故繰越し		金 額	構成比 (%)
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)		
総 務 費	69,039,234	26.7	83,500,000	2.9			152,539,234	4.9
労 働 費			63,700,000	2.2			63,700,000	2.0
農林水産業費			657,039,537	23.0			657,039,537	21.1
商 工 費	132,010,000	50.9					132,010,000	4.2
土 木 費	58,118,200	22.4	675,415,507	23.7			733,533,707	23.6
教 育 費			912,600,000	32.0			912,600,000	29.3
災害復旧費			462,283,261	16.2			462,283,261	14.9
合 計	259,167,434	100.0	2,854,538,305	100.0			3,113,705,739	100.0

翌年度繰越額は、教育費が 9 億 1,260 万円 (構成比 29.3%)、土木費が 7 億 3,353 万 3,707 円 (構成比 23.6%)、農林水産業費が 6 億 5,703 万 9,537 円 (構成比 21.1%)、災害復旧費が 4 億 6,228 万 3,261 円 (構成比 14.9%) など、合計 31 億 1,370 万 5,739 円である。

エ 不用額状況

不用額は 59 億 3,930 万 6,748 円で、そのうち（節）で 5,000 万円以上のものは次表のとおりである。

不用額一覧表

(単位：円)

款	項	目	節	不用額	不用額が生じた主な理由
総務費	総務管理費	企画費	委託料	102,283,479	ふるさと納税が見込みを下回ったため
	総務管理費	企画費	負担金補助及び交付金	105,269,677	高度無線環境整備推進事業に係る補助対象経費が見込みを下回ったため
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	繰出金	53,236,853	国民健康保険特別会計への繰出金が見込みを下回ったため
	社会福祉費	老人福祉費	繰出金	192,975,928	介護保険特別会計等への繰出金が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童措置費	委託料	91,394,222	施設型給付費が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童措置費	扶助費	125,568,823	施設等利用給付費が見込みを下回ったため
	児童福祉費	母子福祉費	扶助費	130,724,427	児童扶養手当の給付額が見込みを下回ったため
	児童福祉費	児童福祉施設費	工事請負費	81,844,382	旧菊川こども園田部分園解体撤去工事が一部不執行となったため
	生活保護費	扶助費	扶助費	384,786,039	医療扶助の給付額が見込みを下回ったため
農林水産業費	水産業費	水産業振興費	負担金補助及び交付金	121,843,350	下関漁港整備事業に係る県施行負担金が見込みを下回ったため
	水産業費	漁港建設費	工事請負費	89,619,840	既存市場解体撤去工事の入札残のため
	水産業費	海岸保全費	工事請負費	111,892,139	宇賀漁港海岸保全事業国庫補助金の内示減により事業費が減少したため
商工費	商工費	商工業振興費	委託料	1,026,597,920	プレミアム付商品券に係る申請件数が見込みを下回ったため
	商工費	商工業振興費	負担金補助及び交付金	117,546,059	企業立地促進奨励金等が見込みを下回ったため
	商工費	商工業振興費	貸付金	311,353,000	各種制度融資等の預託金が見込みを下回ったため
土木費	港湾費	港湾費	繰出金	81,862,638	港湾特別会計への繰出金が見込みを下回ったため
	都市計画費	都市計画総務費	繰出金	54,775,191	土地取得特別会計への繰出金が見込みを下回ったため
	都市計画費	街路事業費	工事請負費	57,169,632	武久幡生本町線道路改良工事の入札残のため
	下水道費	下水道費	負担金補助及び交付金	74,572,802	下水道事業の減価償却費が見込みを下回ったため
教育費	住宅費	住宅建設費	工事請負費	75,296,200	ストック総合改善事業にかかる工事請負費が見込みを下回ったため
	小学校費	学校建設費	工事請負費	54,463,498	空調設置工事費が見込みを下回ったため
	中学校費	学校建設費	工事請負費	86,516,822	空調設置工事費が見込みを下回ったため
災害復旧費	保健体育費	学校給食共同調理場費	需用費	50,309,472	学校給食の実施日数等が見込みを下回ったため
	土木施設費	補助災害復旧費	工事請負費	279,042,700	災害復旧にかかる工事請負費が見込みを下回ったため

オ 款別歳出決算状況

款別の歳出決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

議会費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	588,227,000	571,530,315	97.2%		16,696,685
平成30年度	592,140,000	578,208,385	97.6%		13,931,615
比較増減	△ 3,913,000	△ 6,678,070	△ 0.4 P		2,765,070
前年度対比	99.3%	98.8%	—		119.8%

議会費における主な支出は、議員報酬、職員人件費、議員共済組合負担金等である。

支出済額 5億7,153万315円は、歳出決算額全体の0.5%を占め、前年度と比較し667万8,070円(△1.2%)減少している。これは主に、負担金補助及び交付金が294万8,940円増加したものの、旅費が728万6,751円減少したことによるものである。

不用額1,669万6,685円のうち、主なものは、(項)議会費(目)議会費の旅費895万5,862円である。

第2款 総務費

総務費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	12,956,285,700	12,285,387,054	94.8%	152,539,234	518,359,412
平成30年度	11,070,178,000	10,411,510,981	94.1%	98,341,700	560,325,319
比較増減	1,886,107,700	1,873,876,073	0.7 P	54,197,534	△ 41,965,907
前年度対比	117.0%	118.0%	—	155.1%	92.5%

総務費における主な支出は、職員人件費、基金への積立金、工事請負費等である。

支出済額 122 億 8,538 万 7,054 円は、歳出決算額全体の 10.6%を占め、前年度と比較し 18 億 7,387 万 6,073 円（18.0%）増加している。

翌年度繰越額 1 億 5,253 万 9,234 円は、主に（項）総務管理費における本庁舎整備事業（第 2 期）6,903 万 9,234 円の継続費通次繰越、携帯電話エリア整備事業 5,850 万円の繰越明許費である。

不用額 5 億 1,835 万 9,412 円のうち、主なものは、（項）総務管理費（目）企画費の負担金補助及び交付金 1 億 526 万 9,677 円、（項）総務管理費（目）企画費の委託料 1 億 228 万 3,479 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
総 務 管 理 費	10,336,780,702	84.2	8,507,931,999	81.7	1,828,848,703	121.5
徴 税 費	1,103,517,929	9.0	1,085,528,559	10.4	17,989,370	101.7
戸籍住民基本台帳費	459,313,599	3.7	422,817,615	4.1	36,495,984	108.6
選 挙 費	222,768,677	1.8	230,559,179	2.2	△ 7,790,502	96.6
統 計 調 査 費	63,990,546	0.5	57,415,863	0.6	6,574,683	111.5
監 査 委 員 費	99,015,601	0.8	107,257,766	1.0	△ 8,242,165	92.3
合 計	12,285,387,054	100.0	10,411,510,981	100.0	1,873,876,073	118.0

前年度と比較し、（項）総務管理費が 18 億 2,884 万 8,703 円（21.5%）増加しているが、これは主に、（目）庁舎整備事業費の工事請負費が 14 億 912 万 3,000 円増加したことによるものである。また、（項）監査委員費が 824 万 2,165 円（△ 7.7%）減少しているが、これは主に、（目）監査委員費の給料が 408 万 4,799 円、職員手当等が 240 万 8,952 円それぞれ減少したことによるものである。

第3款 民生費

民生費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金額 B	執行率 B/A		
令和元年度	46,744,171,573	45,361,597,941	97.0%		1,382,573,632
平成30年度	46,571,213,872	44,954,728,777	96.5%	127,299,573	1,489,185,522
比較増減	172,957,701	406,869,164	0.5P	△ 127,299,573	△ 106,611,890
前年度対比	100.4%	100.9%	—	皆減	92.8%

民生費における主な支出は、生活保護業務に係る経費、障害者自立支援給付等業務に係る経費、児童手当等支給業務に係る経費、介護保険特別会計介護保険事業勘定繰出金、後期高齢者医療制度に係る負担金、国民健康保険特別会計繰出金等である。

支出済額 453億6,159万7,941円は、歳出決算額全体の39.3%を占め、前年度と比較し4億686万9,164円（0.9%）増加している。

不用額 13億8,257万3,632円のうち、主なものは、（項）生活保護費（目）扶助費の扶助費3億8,478万6,039円、（項）社会福祉費（目）老人福祉費の繰出金1億9,297万5,928円、（項）児童福祉費（目）母子福祉費の扶助費1億3,072万4,427円、（目）児童措置費の扶助費1億2,556万8,823円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
社 会 福 祉 費	22,819,644,008	50.3	21,919,136,330	48.8	900,507,678	104.1
児 童 福 祉 費	15,164,513,640	33.4	15,251,154,878	33.9	△ 86,641,238	99.4
生 活 保 護 費	7,376,063,861	16.3	7,781,800,253	17.3	△ 405,736,392	94.8
災 害 救 助 費	1,376,432	0.0	2,637,316	0.0	△ 1,260,884	52.2
合 計	45,361,597,941	100.0	44,954,728,777	100.0	406,869,164	100.9

前年度と比較し、（項）社会福祉費が9億50万7,678円（4.1%）増加しているが、こ

これは主に、（目）障害者福祉費の扶助費が 5 億 5,506 万 8,105 円、（目）老人福祉費の繰出金が 2 億 2,377 万 3,121 円それぞれ増加したことによるものである。また、（項）生活保護費が 4 億 573 万 6,392 円（△ 5.2%）減少しているが、これは主に、（目）扶助費の扶助費が 4 億 252 万 2,658 円減少したことによるものである。（項）児童福祉費においても 8,664 万 1,238 円（△ 0.6%）減少しているが、これは主に、（目）母子福祉費の扶助費が 3 億 1,923 万 2,063 円、（目）児童措置費の扶助費が 1 億 5,184 万 7,090 円、負担金補助及び交付金が 1 億 712 万 3,699 円それぞれ増加しているものの、（目）こども未来基金費の積立金が 4 億 4,949 万 7,287 円、（目）児童福祉施設費の工事請負費が 1 億 6,457 万 2,620 円それぞれ減少したことによるものである。

第 4 款 衛生費

衛生費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	9,776,372,640	9,582,630,040	98.0%		193,742,600
平成30年度	10,349,896,000	10,081,337,660	97.4%	27,283,640	241,274,700
比較増減	△ 573,523,360	△ 498,707,620	0.6 P	△ 27,283,640	△ 47,532,100
前年度対比	94.5%	95.1%	—	皆減	80.3%

衛生費における主な支出は、職員人件費、じん芥処理業務に係る経費、地方独立行政法人下関市立市民病院運営業務に係る運営費負担金、病院事業会計補助金等である。

支出済額 95 億 8,263 万 40 円は、歳出決算額全体の 8.3%を占め、前年度と比較し 4 億 9,870 万 7,620 円（△ 4.9%）減少している。

不用額 1 億 9,374 万 2,600 円のうち、主なものは、（項）保健衛生費（目）予防費の委託料 2,175 万 1,437 円、（目）保健衛生総務費の委託料 2,026 万 7,054 円、扶助費 1,564 万 8,073 円、（項）清掃費（目）清掃総務費の職員手当等 1,346 万 8,494 円、（目）じん芥処理費の工事請負費 1,342 万 8,850 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
保 健 衛 生 費	3,051,090,765	31.8	2,990,231,058	29.7	60,859,707	102.0
病 院 費	1,410,456,090	14.7	2,453,661,422	24.3	△ 1,043,205,332	57.5
清 掃 費	5,028,838,038	52.5	4,540,573,146	45.0	488,264,892	110.8
上 水 道 費	92,245,147	1.0	96,872,034	1.0	△ 4,626,887	95.2
合 計	9,582,630,040	100.0	10,081,337,660	100.0	△ 498,707,620	95.1

前年度と比較し、(項)清掃費が4億8,826万4,892円(10.8%)増加しているが、これは主に、(目)し尿処理費の工事請負費が3億2,108万8,231円、(目)じん荼処理費の委託料が1億7,425万6,511円増加したことによるものである。一方、(項)病院費が10億4,320万5,332円(△42.5%)減少しているが、これは主に、(目)病院費の負担金補助及び交付金が12億4,321万4,801円減少したことによるものである。

第5款 労働費

労働費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	279,986,000	210,499,909	75.2%	63,700,000	5,786,091
平成30年度	236,558,000	221,250,325	93.5%		15,307,675
比較増減	43,428,000	△ 10,750,416	△ 18.3 P	63,700,000	△ 9,521,584
前年度対比	118.4%	95.1%	—	皆増	37.8%

労働費における主な支出は、勤労福祉会館管理運営業務に係る経費、雇用対策に係る経費、勤労者総合福祉センター管理運営業務に係る経費等である。

翌年度繰越額6,370万円は、(項)労働諸費の勤労婦人センター耐震改修事業6,370万円の繰越明許費である。

支出済額2億1,049万9,909円は、歳出決算額全体の0.2%を占め、前年度と比較し1,075万416円(△4.9%)減少している。これは主に、(項)労働諸費(目)労働福祉施設費の委託料が1,074万2,871円減少したことによるものである。

不用額 578 万 6,091 円のうち、主なものは、(項) 労働諸費 (目) 労働福祉費の貸付金 208 万円、(目) 労働福祉施設費の委託料 194 万 6,291 円である。

第 6 款 農林水産業費

農林水産業費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	5,390,545,582	4,253,564,572	78.9%	657,039,537	479,941,473
平成30年度	5,636,100,506	4,488,182,130	79.6%	476,714,582	671,203,794
比較増減	△ 245,554,924	△ 234,617,558	△ 0.7 P	180,324,955	△ 191,262,321
前年度対比	95.6%	94.8%	—	137.8%	71.5%

農林水産業費における主な支出は、職員人件費、農業振興に係る補助金、下関漁港の整備に係る経費、水産業における金融対策に係る経費等である。

支出済額 42 億 5,356 万 4,572 円は、歳出決算額全体の 3.7%を占め、前年度と比較し 2 億 3,461 万 7,558 円 (△ 5.2%) 減少している。

翌年度繰越額 6 億 5,703 万 9,537 円のうち、主なものは、(項) 水産業費の下関漁港整備事業 3 億 2,058 万 237 円、二見漁港金比羅橋整備事業 9,720 万円の繰越明許費である。

不用額 4 億 7,994 万 1,473 円のうち、主なものは、(項) 水産業費 (目) 水産業振興費の負担金補助及び交付金 1 億 2,184 万 3,350 円、(目) 海岸保全費の工事請負費 1 億 1,189 万 2,139 円、(目) 漁港建設費の工事請負費 8,961 万 9,840 円、(項) 農業費 (目) 農業振興費の負担金補助及び交付金 4,915 万 8,624 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
農 業 費	2,268,921,247	53.3	1,990,506,810	44.3	278,414,437	114.0
林 業 費	317,656,737	7.5	327,398,812	7.3	△ 9,742,075	97.0
水 産 業 費	1,666,986,588	39.2	2,170,276,508	48.4	△ 503,289,920	76.8
合 計	4,253,564,572	100.0	4,488,182,130	100.0	△ 234,617,558	94.8

前年度と比較し、(項) 農業費が 2 億 7,841 万 4,437 円 (14.0%) 増加しているが、これは主に、(目) 農地費において、海岸樋門整備事業に係る工事請負費が 2 億 761 万 6,000 円増加したことによるものである。一方、(項) 水産業費が 5 億 328 万 9,920 円 (△ 23.2%) 減少しているが、これは主に、(目) 漁港建設費の下関漁港南風泊地区高度衛生管理整備事業に係る工事請負費が 3 億 6,611 万 2,320 円減少したことによるものである。

第7款 商工費

商工費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	6,040,931,000	4,321,485,053	71.5 %	132,010,000	1,587,435,947
平成30年度	4,831,443,000	4,176,033,612	86.4 %	34,910,000	620,499,388
比較増減	1,209,488,000	145,451,441	△ 14.9 P	97,100,000	966,936,559
前年度対比	125.0%	103.5%	—	378.1%	255.8%

商工費における主な支出は、中小企業等に対する金融対策業務に係る経費、水族館運営業務に係る経費、職員人件費等である。

支出済額 43 億 2,148 万 5,053 円は、歳出決算額全体の 3.7%を占め、前年度と比較し 1 億 4,545 万 1,441 円 (3.5%) 増加している。

翌年度繰越額 1 億 3,201 万円は、全額が(項) 観光費における豊田道の駅温浴施設改修事業の継続費通次繰越である。

不用額 15 億 8,743 万 5,947 円のうち、主なものは、(項) 商工費 (目) 商工業振興費の委託料 10 億 2,659 万 7,920 円、貸付金 3 億 1,135 万 3,000 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
商 工 費	2,455,627,906	56.8	2,018,768,847	48.3	436,859,059	121.6
観 光 費	1,865,857,147	43.2	2,157,264,765	51.7	△ 291,407,618	86.5
合 計	4,321,485,053	100.0	4,176,033,612	100.0	145,451,441	103.5

前年度と比較し、(項)商工費が4億3,685万9,059円(21.6%)増加しているが、これは主に、(目)商工業振興費の小売商業消費拡大支援事業に係る委託料が4億9,318万5,898円皆増したことによるものである。一方、(項)観光費が2億9,140万7,618円(△13.5%)減少しているが、これは主に、(目)観光施設費において、施設改善業務に係る工事請負費が3億431万4,540円減少したことによるものである。

第8款 土木費

土木費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支 出 済 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	12,959,644,708	11,558,873,126	89.2%	733,533,707	667,237,875
平成30年度	13,881,422,865	11,848,724,840	85.4%	998,748,708	1,033,949,317
比較増減	△ 921,778,157	△ 289,851,714	3.8 P	△ 265,215,001	△ 366,711,442
前年度対比	93.4%	97.6%	—	73.4%	64.5%

土木費における主な支出は、公共下水道事業会計補助金、道路橋りょう整備に係る経費、港湾特別会計繰出金等である。

支出済額115億5,887万3,126円は、歳出決算額全体の10.0%を占め、前年度と比較し2億8,985万1,714円(△2.4%)減少している。

翌年度繰越額7億3,353万3,707円のうち、主なものは、(項)都市計画費の乃木浜総合公園2期整備事業1億2,900万円、街路整備事業8,042万5,300円、(項)道路橋りょう費の交通安全施設整備事業1億1,803万7,327円、橋りょう長寿命化事業7,917万3,844円の

繰越明許費である。

不用額 6 億 6,723 万 7,875 円のうち、主なものは、(項) 港湾費(目) 港湾費の繰出金 8,186 万 2,638 円、(項) 住宅費(目) 住宅建設費の工事請負費 7,529 万 6,200 円、(項) 下水道費(目) 下水道費の負担金補助及び交付金 7,457 万 2,802 円、(項) 都市計画費(目) 街路事業費の工事請負費 5,716 万 9,632 円、(目) 都市計画総務費の繰出金 5,477 万 5,191 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
土 木 管 理 費	357,746,830	3.1	348,781,733	2.9	8,965,097	102.6
道 路 橋 り よ う 費	2,437,894,653	21.1	2,756,060,791	23.3	△ 318,166,138	88.5
河 川 費	560,103,959	4.9	519,880,024	4.4	40,223,935	107.7
港 湾 費	2,223,157,511	19.2	2,214,906,246	18.7	8,251,265	100.4
都 市 計 画 費	2,614,285,266	22.6	2,739,192,809	23.1	△ 124,907,543	95.4
下 水 道 費	2,379,815,891	20.6	2,439,461,604	20.6	△ 59,645,713	97.6
住 宅 費	985,869,016	8.5	830,441,633	7.0	155,427,383	118.7
合 計	11,558,873,126	100.0	11,848,724,840	100.0	△ 289,851,714	97.6

前年度と比較し、(項) 道路橋りょう費が 3 億 1,816 万 6,138 円 (△ 11.5%) 減少しているが、これは(目) 道路新設改良費の工事請負費が 1 億 9,554 万 6,140 円、(目) 交通安全施設整備事業費の工事請負費が 1 億 2,216 万 4,940 円減少したことによるものであり、(項) 都市計画費が 1 億 2,490 万 7,543 円 (△ 4.6%) 減少しているが、これは主に、(目) 街路事業費の委託料が 2 億 4,201 万 2,812 円減少したことによるものである。一方、(項) 住宅費が 1 億 5,542 万 7,383 円 (18.7%) 増加しているが、これは主に、(目) 住宅建設費の工事請負費が 1 億 587 万 8,040 円増加したことによるものである。

第9款 消防費

消防費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	3,575,289,000	3,472,525,928	97.1%		102,763,072
平成30年度	3,574,163,000	3,498,235,297	97.9%		75,927,703
比較増減	1,126,000	△ 25,709,369	△ 0.8 P		26,835,369
前年度対比	100.0%	99.3%	—		135.3%

消防費における主な支出は、職員人件費、消防施設に係る経費等である。

支出済額 34 億 7,252 万 5,982 円は、歳出決算額全体の 3.0%を占め、前年度と比較し 2,570 万 9,369 円 (△ 0.7%) 減少している。これは主に、(項) 消防費 (目) 災害対策費に係る委託料が 3,273 万 6,363 円減少したことによるものである。

不用額 1 億 276 万 3,072 円のうち、主なものは、(項) 消防費 (目) 消防施設費の工事請負費 2,882 万 790 円、(目) 非常備消防費の報償費 1,724 万 4,000 円である。

第10款 教育費

教育費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	11,099,485,047	9,672,907,535	87.1%	912,600,000	513,977,512
平成30年度	11,095,830,000	7,752,797,450	69.9%	2,376,709,047	966,323,503
比較増減	3,655,047	1,920,110,085	17.2 P	△ 1,464,109,047	△ 452,345,991
前年度対比	100.0%	124.8%	—	38.4%	53.2%

教育費における主な支出は、職員人件費、小中学校の管理運営に係る経費、保健体育に係る経費等である。

支出済額 96 億 7,290 万 7,535 円は、歳出決算額全体の 8.4%を占め、前年度と比較し 19 億 2,011 万 85 円 (24.8%) 増加している。

翌年度繰越額 9 億 1,260 万円のうち、主なものは、(項) 小学校費の小学校校内通信ネットワーク整備事業 5 億 6,500 万円、(項) 中学校費の中学校校内通信ネットワーク整備事業 3 億 2,160 万円の繰越明許費である。

不用額 5 億 1,397 万 7,512 円のうち、主なものは、(項) 中学校費(目) 学校建設費の工事請負費 8,651 万 6,822 円、(項) 小学校費(目) 学校建設費の工事請負費 5,446 万 3,498 円、(項) 保健体育費(目) 学校給食共同調理場費の需用費 5,030 万 9,472 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
教 育 総 務 費	1,037,746,954	10.7	1,037,077,297	13.4	669,657	100.1
小 学 校 費	2,649,706,705	27.4	1,358,818,760	17.5	1,290,887,945	195.0
中 学 校 費	1,161,134,386	12.0	706,790,359	9.1	454,344,027	164.3
高 等 学 校 費	515,789,418	5.3	579,623,041	7.5	△ 63,833,623	89.0
大 学 費	186,256,468	1.9	217,282,255	2.8	△ 31,025,787	85.7
幼 稚 園 費	19,960,800	0.2	43,666,200	0.6	△ 23,705,400	45.7
社 会 教 育 費	1,863,650,715	19.3	1,908,410,799	24.6	△ 44,760,084	97.7
保 健 体 育 費	2,238,662,089	23.2	1,901,128,739	24.5	337,533,350	117.8
合 計	9,672,907,535	100.0	7,752,797,450	100.0	1,920,110,085	124.8

前年度と比較し、(項) 小学校費が 12 億 9,088 万 7,945 円 (95.0%) 増加しているが、これは主に、(目) 学校建設費のエアコン整備事業に係る工事請負費が 13 億 2,005 万 3,613 円増加したことによるものであり、(項) 中学校費が 4 億 5,434 万 4,027 円 (64.3%) 増加しているが、これは主に、(目) 学校建設費のエアコン整備事業に係る工事請負費が 4 億 9,078 万 9,587 円増加したことによるものである。また、(項) 保健体育費が 3 億 3,753 万 3,350 円 (17.8%) 増加しているが、これは主に、(目) 体育施設費の体育施設運営業務に係る工事請負費が 3 億 5,644 万 4,560 円増加したことによるものである。一方、(項) 高等学校費が 6,383 万 3,623 円 (△ 11.0%) 減少しているが、これは主に、(目) 高等学校管理費の工事請負費が 2,196 万 480 円減少したことによるものである。

第11款 災害復旧費

災害復旧費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金額 B	執行率 B/A		
令和元年度	1,353,852,540	479,897,578	35.4%	462,283,261	411,671,701
平成30年度	569,520,640	200,233,053	35.2%	315,162,440	54,125,147
比較増減	784,331,900	279,664,525	0.2 P	147,120,821	357,546,554
前年度対比	237.7%	239.7%	—	146.7%	760.6%

支出済額 4 億 7,989 万 7,578 円は、歳出決算額全体の 0.4% を占め、前年度と比較し 2 億 7,966 万 4,525 円 (139.7%) 増加している。

翌年度繰越額 4 億 6,228 万 3,261 円のうち、主なものは、(項) 土木施設災害復旧費における土木施設災害復旧事業 4 億 989 万 3,340 円の繰越明許費である。

不用額 4 億 1,167 万 1,701 円のうち、主なものは、(項) 土木施設災害復旧費 (目) 補助災害復旧費の工事請負費 2 億 7,904 万 2,700 円である。

また、項別の支出状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

項別支出状況年度比較表

(単位：円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	支出済額 A	構成比 (%)	支出済額 B	構成比 (%)		
土木施設災害復旧費	395,252,974	82.4	141,132,263	70.5	254,120,711	280.1
農林水産施設災害復旧費	55,905,324	11.6	44,959,069	22.4	10,946,255	124.3
その他公共施設公用施設 災 害 復 旧 費	28,739,280	6.0	14,141,721	7.1	14,597,559	203.2
合 計	479,897,578	100.0	200,233,053	100.0	279,664,525	239.7

前年度と比較し、(項) 土木施設災害復旧費が 2 億 5,412 万 711 円 (180.1%) 増加しているが、これは (目) 補助災害復旧費の工事請負費が 1 億 7,282 万 1,540 円増加したことによるものである。また、(項) その他公共施設公用施設災害復旧費が 1,459 万 7,559 円 (103.2%) 増加しているが、これは主に、(目) 総務施設災害復旧費の工事請負費が 1,309 万 8,800 円皆増したことによるものである。

第12款 公債費

公債費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予算現額 A	支出済額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金 額 B	執行率 B/A		
令和元年度	13,659,357,000	13,648,546,152	99.9%		10,810,848
平成30年度	13,206,640,000	13,196,067,737	99.9%		10,572,263
比較増減	452,717,000	452,478,415	0.0P		238,585
前年度対比	103.4%	103.4%	—		102.3%

支出済額 136億4,854万6,152円は、歳出決算額全体の11.8%を占め、前年度と比較し4億5,247万8,415円(3.4%)増加している。これは主に、公債管理特別会計への繰出金が4億5,270万3,811円増加したことによるものである。

不用額 1,081万848円のうち、主なものは、(項)公債費(目)利子の償還金利子及び割引料 931万3,438円である。

第13款 予備費

予備費の歳出決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳出決算状況年度比較表

(単位：円)

区 分	予 算 現 額				不用額
	当初予算額 A	補正予算額 B	充 用 額 C	計 A+B-C	
令和元年度	100,000,000		51,690,100	48,309,900	48,309,900
平成30年度	100,000,000		41,407,240	58,592,760	58,592,760
比較増減	0		10,282,860	△ 10,282,860	△ 10,282,860
前年度対比	100.0%		124.8%	82.5%	82.5%

予備費充用額 5,169万100円の内訳は、(款)災害復旧費(項)土木施設災害復旧費(目)補助災害復旧費の測量設計業務に係る委託料 5,060万円、(項)農林水産施設災害復旧費(目)農業用施設災害復旧費の測量設計業務に係る委託料 109万100円である。